

トラック6

キャラクター感：トラック5で主人公くんへの気持ちを確かめたが、職務を優先して
いこうとする、セックス中

プレイ内容：騎乗位、しっかりめのオホ

【位置：やや左 距離：やや近】

こんにちは、お兄さん。

先日は、その、ありがとうございました。

急な呼び出しにもかかわらず応じて頂き。

それに、射精まで。

【距離：近】

（ゆっくり。マフラーに顔をうずめ、照れ隠しから嬉しさを浮かべる顔を隠す）

あと……

このマフラー。お兄さんに買ってもらったの……。

肌さわりも、暖かさも丁度良くて、助かります。

落ちついた感じの紺色と、ふきふきの先……。

肌に少しあたると、こしよぐったくもなりますが、

でも、包まれているような気がして……

心も暖かくなるような気分です。

【位置：中】

（一旦精神的に距離をとる）

……ん。

すみません。話がそれてしまいました。

えと、今日の話、もう連絡は確認していただけてますか？

（（）は事務的）

はい。

今日はいままでの上上げ……。

サキユバス媚薬にも耐えうるようになった、お兄さんと私とのセックス……。

おまんこえっち。

今日、ここで、私の中に、無事に出すことが出来たら。

これまでの結果を論文として提出し、
科学的に、人間との共存が可能であることを示すんです。

【位置：やや右】

（少し柔らかく）

それに、人間の習性や性癖も、いろいろと知ることができましたので、
それも合わせて。

ま。お兄さんの場合は少し特殊なのかもしれませんが。

（再度、精神的に距離を取る）

ふう。

ということで、しましうか。おまんこ。

お兄さん。いつものソファで横になっていただけますか？
初めてだと、私が上になった方が行いやすいでしょうし。

（すこしだけ儚い感じで）

……ん。

ありがとうございます。

私も、お隣。失礼します。

（ゆっくり、一呼吸おいてから）

……あの、お兄さん。

どうしたんですか？

私の手を握ったりして……。

（少し小声で、内心は怖さを感じる）

別に……

怖くなんてないですよ。

（怖さを隠すために、取り繕って謎の言い訳で気持ちを覆う）

もともと、その為の器官ですし。

確かに、最初は痛みが伴うかもしれませんが、私達サキユバスは、性器で感じる痛みは抑制できるよう……

(主人公に気持ちを見抜かれてしまうが、優しい！やっぱり好き！みたいな)

……え？気持ちの問題、ですか。

それはまあ、多少は……。

でも、今回は公務の一つとして、責任もありますし……

その相手がお兄さんということであれば、安心できますし、それに……。いえ、なんでもないです。

SE:ズボンの上からさする音

(ゆっくりおちんちんを撫で、主人公の反応を見つ)

ん。とにかく、私は大丈夫です。

この……おちんぽに突かれても……。

(やさしく問いかけるように)

あの、お兄さん。

これ、少し触っただけで……

むくむくとしてきたのが、ズボン越しでも伝わってくるのですが……。

(最後の台詞は喉まで出かけた言葉を飲み込むように)

自分はしたいくせに、人の調子を伺って……。

お兄さんのそういう非効率なところ、本当に……。

アドリブ:耳舐め10秒

それじゃ、ズボン。脱がせますね。

SE:ズボンを下ろす音

【位置:右 距離:密着】

……ん。すでに限界まで大きくなって……。

それに、ぴくんぴくんと震わせて、アピールされています。

【位置：やや右 距離：近】

で。私も。下、脱ぎます……。

んっ……。

ふう。

SE:下を脱ぐ音

どうせなら、上も脱いだ方がいいですか？

お兄さん、私の胸をちらちら見がちですし……。

その方が興奮しますよね？

ん。わかりました。

じゃ、上も脱ぎます。

SE:上を脱ぐ音

(照れを隠すように)

そんな、嬉しそうな顔。

大好きなんですネ。私の胸。

……へえ。

ま、いいですけど。

では、お兄さんの上、失礼します。

んっ……。

ふう。

(ゆっくり、太ももを撫で暖かさを感じながら)

太もも、温かいです。

それに、芯が太くて、安定感も……。
ん。これ。落ち着きます。

(心配そうに、ゆっくり伺う)

私の身体、重かったり、冷たかったりはしませんか？
……そうですか。ならよかったです。

(一息ついてから)

ふう。

これ……。私のお腹にあてがうと、
どのくらいの深さまで入るのか、分かります。

お兄さんの、少し大きいから、おへそあたりまででしょうか……。

【位置：やや左 距離：密着】

(恐怖心を隠すために、すこしからかう感じで)

きつと、このおちんぽに狂わされてしまうのですね。

……。更にむくむくとなるのが、伝わります。

ふう。

やっぱり、こういう言い回しが好みなんですね。

お兄さんの為に、予習はしてきましたから。

初めてのえつちだと、男性は萎えやすいと聞いたことがありますし。

【位置：やや左 距離：近】

ん。でも……

本当にこれが、私の中に……。

【位置：やや左↓中 距離：近↓密着 移動しながら】

……あの。

お兄さん。少し……。

(優しいリップキス)

んちゅ……んちゅ……ちゅう……ちゅう……ちゅつ。

はぁ……。

すみません……。

何故か、不安が急に浮かんでしまつて……。
先ほどまでは、なんともなかったのですが……。

(優しく、舌を絡ませ合う)

ん……。

んちゅ……んちゅ、ちゅ……んちゅう……んちゅう……んちゅう、ちゅう、ちゅつ、
ちゅう、れろ、れろ……。

はあ……。

ふう。

落ち着きました、ありがとうございます。

(ゆっくり、少し小声)

こんな感情、お兄さんと会うまでは、気にしたことがなかったのに……。

【位置：中 距離：密着↓近】

(クールなジョーダン)

……ん。今日はその、責任。取ってください。
なんの責任かは分かりませんが……。

……それじゃ。

これ、入れますね。私の中に……。

このまま腰を前に……。

(あてがう)

んっ……んっ……

はあ……

SE:挿入

(少しお腹に力を入れた感じ)

んん……。んっ……。

はあ……。はあ、はあ……。はあああ……。

【位置：左 距離：密着】

（力を抜く）

ああ……。はあ……。

★以降、台詞はゆっくり、静かな呼吸を入れながら。

全部、入りました……。

んっ……。

お腹の中、お兄さんので満たされてます……。

先の太いところが、私を押し広げて、馴染んでいきます……。

はあ……。はあ……。

大丈夫、です……。痛くはありませんから……。

これは慣れの問題だと思いますので……。

お兄さんのが、私の身体の一部になるまでの……。

んっ……。

はあ……。はあ……。

私の、ことより……。

お兄さんはどう、でしょうか……。

おまんこ……。キツかったり、緩かったり、しませんか……？

んっ……。

はあ……。はあ……。

丁度、いいですか……。

ん、なら、よかったです……。

はぁ……

おまんこの中、おちんぽを受け入れるために……
高純度の、サキユバス媚薬が、分泌されているのですが、
それにも……んっ、適合してきたんですね。

んっ……。

心のシンクロ率が高いと、抗体を持つ、みたいです……。
私、お兄さんのこと、信頼はしてるので、
お兄さんも、そう思ってくれてるなら、嬉しいです。

はぁ……はぁ……。

んっ……。

【位置…左↓やや左 距離…密着↓近 移動しながら】
おちんぽの感覚、慣れてきたので……。

このまま、腰。前後に動かしていきます……。

【移動完了】

★以降、台詞の速度は変わらず、呼吸と喘ぎを少し激しく

ん……。

んっ、んっ、っ、はぁ、んっ、はぁ、はぁ、はぁ、はぁ、っ、んっ、っ、んっ、んっ、ふう、はぁ、
はぁ……。

こう、でしょうか……。

すみません、初めてなもので……。
手のように、早くは出来ず……。

んっ……んあっ……。

ゆっくりに、なりますが……っ。
んっ……。

こうやって、おまんこの奥まで……
おちんぽ、ぶつけてみます……。

ん……。
んっ、んっ、っ、はぁ、んっ、はぁ、はぁ、はぁ、はぁ、はぁ、っ、んっ、っ、んっ、んっ、んっ、はぁ、
はぁ……。

【位置：やや左 距離：密着】

はぁ……はぁ……。

奥で、お兄さんのを感じながら、
んっ……。

お兄さんの感じてる顔、見ると……。
まるで、ひとつの身体になったみたいに……

んっ……んあっ……

おちんぽ、反応する度に、おまんこも、震えます……。

ん……。

んっ、んっ、んあ……

はぁ、はぁ……

気持ち、いいですか？

んっ……。

私も、おまんこ、広げられる度に……
んっ、脳がおかしくなりそうです……。

お兄さんと、会ってから私……。
一人で、してたんです……。

お兄さんから借りた、本……。

人間の習性を知るためだ言っ、家では、一人で……。
それも、本当のこと、なんですが……。

んっ、んあっ、んっ……

でも、それよりも、今……。

こうして、お兄さんとしてるほうが、ずっと気持ち良くて……。

んっ、んっ、んあっ、あっ、あっ……

はぁ……。

すみません、入れたばかりなのに、私、もう……。

いつちやい、そうです……っ。

これは、搾精のためのえっち……。

私が気持ち良くなることなんて、ないはず、なのに……。

お兄さんのその、顔……っ。

私で気持ちよくなってくれてる顔……。

見ると、身体の中、あったかくなって……

敏感にもなって……。

ん……。
んんんんんん………つつ。
ん……ふう……ふううう……。
ふう、ふう、ふう……。

☆騎乗位ピストンゆるめる

★以降、喘ぎ抑えめ、深く呼吸を整えながらも、騎乗位は続ける

【位置：左】

はあ……はあ……。
すみません、お兄さん……。
はあ…。

【位置：やや左】

……あの。
胸、借りていいですか？
膝、ガクガクと震えてしまつて……。
はあ……はあ……
……ん。ありがとうございます…。

おまんこも、ゆつくりにします……。

（相反する感情に揺れ、発言しながら気持ちを整えていく）

……ふう。
私、今日……んっ、少しおかしくて……。
自分でも何故か、わからないのですが……。
セックスをすることなんて、当たり前のことだと、思ってたのに……。
お兄さんとは、したく、なくて……。
いえ、嫌というわじゃ、んっ……ないんです。
もっと大事に、したかったというか……

サキユバスと人間としてではなく、
んっ……。何も介さない、ただ、2つの存在として……。
こんなこと、言うの。

おかしいとは思うのですが……。
王妃としての使命や責任は、未だに感じていますし……。
んっ……。

（少し声を抑えて）

でも、お兄さんとうとうして繋がっていると、
全て話したくなって……。

【位置：中】

（はつきりと）

……あの。お兄さん。
お兄さんって、好きな人とか、いますか？
……ん。

私は、お兄さんが好き、です……。
冗談じゃ、ないです。そんなはず。

（再度すこし小声に）

先日の、観覧車……。
私、乗る前からあの気持ちの正体……。
うすうすと分かってたんです……。
ただ、確証も得ずに、お兄さんに伝えるのは、無責任でもありましたから。

はあ……はあ……

だから、それを確認するために、誘ったんです。
あのドキドキを、あの女の子と同じように感じたら、お兄さんに伝えようって。

(気持ちの整理がついてきて、少しからかうように)

でも、お兄さん……。

私の知らないところで、んっ。一人で……。

おかげで、伝える機会がなくなってしまった……。

(主人公を求めるようなキス)

お兄さん、好き……。

んっ……。

んちゅ、んちゅ、んちゅう、んちゅう、れろ、れろ、んれろ、んれろ、んれろ、んれろ、れろ、ちゅう、んちゅう、んちゅう、ちゅう、ちゅう、ちゅう、ちゅう……。

はぁ……

【位置：やや右】

(ゆっくり、かみしめるように)

初めて逢ったとき……んっ……。

私、あのときの態度、ひどかったと思いますが、それでも受け止めてくれて。心配まで、してくれて……。

んっ……んあっ……。

……ん。

覚えていませんか？

……そんなところも、お兄さんらしいです。

なんで私が、こんなことをしているのか……っ。て、国のことを理解した上で、言ってくれて……っ。それってつまり……

集団としてではなく、個として……んあっ。私を見てくれたんですよ

【位置：右】

はあ……はあ……

そんなこと、初めてで……。

防衛心から、突っぱねて、しまいましたけど……っ。、その理由……。

私、このままで良いのかな、と……。

もう少し変わりたいな、と、思ってたんです。

何にも自信を持てなくて、ただ、一つの機関として、与えられた仕事をするだけの毎日、から……っ。

んっ……。

だから……っ、外に、出てみたんです。

たしかに、人間は悪だと、教えられましたけど……。
それだと、今までと、変わりませんから……

んっ……。

そのおかげで、お兄さんと出会えました。

私の国にはなかった、感情とか、温もりとか、教えてくれました。
ま。少し、変わってますけど……。

【位置：右↓中 移動しながら】

ね、お兄さん……。

お兄さんは私のこと、どう思いますか？

【移動完了】

……ん。好き、ですか……？

本当に……？

嬉しい、です……。

アドリブ…(息多めで深めなキス15秒)

(一度騎乗位をとめる)

はあ……はあ……。

おちんぼ……。

私の中で、大きくなってきました……。

やっぱり、お兄さんの身体。

分かりやすく、好きです。

(ゆっくり)

あの……。

今からは恋人として、えっちの続き。

しませんか？

★くっ少しだけ声のスピードを早める、キスも激しめ

んっ。ありがとうございます……。
また、動き、激しくします。

んっ……。んあっ……。

さっきより、奥にあたって……気持ち良いっ。

お兄さん、好き……。好きです……。

私の身体で、

んっ……。

気持ちよくなってくれてるの、嬉しい……。

アドリブ…(キス、激しめ 20 秒)

密着して、おっぱいおしつけて……。

お兄さんの吐く息、感じながら……。

おちんぼをおまんこに挿れるの、気持ちいいです……っ♡

奥に、当たる度に……

んっ……

私の頬を掠める、お兄さんの、息……が、

あったかくって、満たされ、ます。

もっど……お兄さんを感じたい……。

アドリブ…(舌を絡ませ合って熱を感じさせる激しいキス 20 秒)

好き……っ♡好きっ♡

んちゅっ♡ちゅっ♡

気持ち、一回伝えただけなのに……。

んっ♡んあっ♡

お兄さんへの好きが、止まらない……っ♡

んっ♡んあっ♡あっ♡

はあ……♡はあ……♡

お兄さんも言ってください……♡

んっ……♡

私のこと、好きって……♡

……ん。、

嬉しい。私も、好き……、好きっ♡

んっ……♡

アドリブ…(キス激しめ20秒)

はあ……♡はあ……♡

☆

★く騎乗位早める、オホ声は下品に

んっ♡おっ♡おっ♡おっ♡んんっ♡

お兄さん……っ♡

それ、だ、め……。変な声が……。

んんんっ♡おっ♡おあっ♡

下から……突き上げ……♡

ああ♡ああ♡

はあ……♡はあ……♡

なん、で……んあっ♡やめて、くれないんですか……っ♡

んっ♡おおっ♡おっ♡

……恋人同士は普通するって、そんなの嘘……っ♡
あぁっ♡おお……♡おっ♡

こんな、の……っ♡

おっ♡

好きな人には、聞いてほしくない声……っ♡

お兄さんの前では綺麗でいたい、のにつ……っ♡

おっ♡おおっ♡おっ♡おっ♡

でもっ、そう思うほど、声が出ちゃって……っ♡

んっ♡……♡おっ♡おっ♡おっ♡

すみません、お兄さん……。

んっ……♡

こんな私……っ♡

んおっ♡おっ♡

それでも……。

好きでいてくれますか？

おっ♡おっ♡

はぁ……♡はぁ……♡

……んふ♡

頭、撫でられて……♡

この大きな手で包まれるのも、好きっ、んっ♡です……♡

んっ……♡

んちゅ、んちゅ、んちゅう、んちゅう、れろ、れろ、んれろ、んれろ、んれろ、れ
ろ、ちゅう、んちゅう、んちゅう、ちゅう、ちゅう、ちゅう、ちゅう……♡

もっと、してください……っ♡

お兄さんに求められるの、好き、なのでっ♡

恥ずかしい、けど……っ♡

それ以上に、嬉しい……っ♡

★以降、ラストスパートに向け騎乗位早めに、喘ぎも強めで

おっ♡おおっ♡おっ♡

ああっ♡あっ♡えあ♡

おっ♡おっ♡

あ♡はあ♡はああ……っ♡

おまんこのスピード、はやいっ♡ですっ♡

おっ♡おっ♡

これ、おまんこだけじゃなくて、頭の中まで、

お兄さんのでいっぱいにされるようっ♡

えあ♡ああ♡

お兄さんも、このおちんぽも、好きですっ♡

だから、もっと……っ♡

ん♡おっ♡おおっ♡おっ♡

ああ……♡えあ♡

はあ……♡はあ……っ♡

息、激しくなって……。

んっ♡

おちんぽも、私の中で、ぴくぴくするのが伝わり、ます……っ♡

はあ……♡はあ……っ♡

★以降、呼吸を整えながら、ゆつくりと。

【位置：左】

もう足、へとへとで、立てそうにないです……。

すみません……。暫く、このまま。

繋がったままでいさせてください……。

……。ありがとうございます。

ふう……。

んちゅっ♡ちゅっ♡ちゅっ♡

はぁ……。はぁ……。

お兄さん、最後、激しすぎ、です……。

頭真っ白になってしまうのかと……。

でも、満足そうな顔が見れたので、良かったです、けど……。

はぁ……。

私も、変な気分煽られて、いろいろと口走ってしまいました……。

……。ん。本心ですよ。

思っていたことを伝えてしまったのが、恥ずかしいだけで……。

（無理で勝手な頼みをしているという自覚をしつつ、傍げに）

あの、お兄さん。

もしよかったら、私の国に、来てくれませんか？

いくら私が、科学的に共存が可能であることを伝えても、

気持ちの面では納得が行かない人たちも、居ると思うんです。

……。なので、今日みたいに、お互いに好き好き言いあうセックスを見てもらえれば、その気持ちも解消されると思うんです……。

でも、やっぱり、人間のことを未だ、よく思わない方も多いでしょうから、お兄さんが攻撃されるようなことも……。

だから、判断はお兄さんに任せます。

(嬉しいけど、少し申し訳なく)

……そんな、2つ返事でいいんですか？
何されるかも……。

(すごく嬉しい)

ふう。

お兄さん、好きです……。

ん……♡ ちゅ……ちゅづ……ちゅづ……ちゅづ……ちゅづ……ちゅづ……♡
はぁ……♡